

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～ドイツ(1/6)

## ■目次 ～ドイツ～

### 1. 基本調査

#### ①基礎情報

#### ②デジタルに関する組織及び施策等の概要

### 2. 重点調査分野(11テーマ)

## 11重点分野リサーチ状況

サービスデザイン/UIUX	-	デジタルデバインド	-	共同利用・共同調達	-
データ利活用	○	官民共創	-	デジタル予算	-
行政サービスのデジタル化	-	新技術 (AI、メタバース)	★	スマートシティ	★
サイバーセキュリティ	○	人材育成・確保	-		

★・・・都が特にベンチマークすべき事例あり、○・・・情報あり、－・・・情報なし

## 1-①基礎情報

国名	ドイツ
面積 (km)	357,000
人口 (万人)	8,319
首都	ベルリン
主要言語	ドイツ語
宗教	キリスト教、ユダヤ教
GDP (10億米ドル)	829 ※IMF 22年10月時点
ランキング (電子政府)	22位（国連2022年）、11位（早稲田2022年）

元首	フランク＝ヴァルター・シュタインマイヤー大統領
議会	二院制
政府	オラフ・ショルツ首相
政体	連邦共和制
主要産業	自動車、機械、化学・製薬等
通貨	ユーロ
国民文化	
参考	ドイツ基本情報(外務省)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～ドイツ(2/6)

## 1 - ②デジタルに関する組織及び施策等の概要

	名称	概要	拠点	ソース・サイト
組織	Bundesministeriums für Wirtschaft und Klimaschutz	中規模企業や信仰企業のインベーションを促進するためのプロジェクトや、産業と中小企業のデジタル化の促進を支援するため政策の立案を行う政府機関。	ベルリン	・ <a href="#">公式ホームページ</a>
組織	Bundesamt für Sicherheit in der Informationstechnik	政府、企業、社会における情報通信技術の安全な使用を目標とし、情報セキュリティに関連するプログラム・政策を実行、監督を行う政府機関。	ボン	・ <a href="#">公式ホームページ</a>
施策	データ戦略	データによって提供される機会を確実に活用することを目的として策定された戦略。240を超える対策により、ドイツをヨーロッパにおけるデータとデータ共有の革新的な使用の先駆者にするをを目指す。	-	・ <a href="#">詳細記事</a>
施策	オープンデータ戦略	政府が所有するデータを広く公開することで、社会や経済の活性化を図ることを目的として策定された戦略。データ利活用のため、行政のデータ提供促進に関する取組や、ポータルサイトの更なる開発などが計画されている。	-	・ <a href="#">詳細記事</a>
施策	Cyber Security Strategy for Germany	ドイツのサイバーセキュリティを強化し、国家や企業などの重要インフラストラクチャーをサイバー攻撃から保護することを目的としている。	-	・ <a href="#">詳細記事</a>

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～ドイツ(3/6)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –データ利活用

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

ドイツ政府は、データを活用して社会をより良く、人々の生活を改善することを目的とし以下データ利活用に関する戦略を策定。

- データ戦略
- オープンデータ戦略

また、オープンデータ促進のため2021年9月には国際オープンデータ憲章を採択。

#### 参考

- [Federal Government Data Strategy\(ドイツ政府\)](#)
- [Open Data Strategy\(ドイツ政府\)](#)
- [オープンガバメントについて\(ドイツ政府\)](#)

#### 取組概要

※着手中含む

各戦略の主要テーマは以下のとおり。

- **データ戦略**
  - データインフラの効率化と持続可能化の促進
  - データの革新的かつ責任ある使用の増加
  - データ能力の向上とデータ文化の確立
  - 州のデータインフラの向上
- **オープンデータ戦略**
  - データの提供を改善し、強力で持続可能なデータインフラを作成
  - データの革新的で責任あるデータ利用の強化
  - データコンピテンシーの育成とデータカルチャーの確立

オープンガバメントに関連する州、地域、自治体レベルのプロジェクト例

- **Open.NRW**:ノルトライン＝ウェストファーレン州の情報プラットフォーム
- **Regional Open Government Labore**:13の研究所による地方自治体のプラットフォーム構築とオープンデータ促進のための取組

#### 参考

- [Federal Government Data Strategy\(ドイツ政府\)](#)
- [Open Data Strategy\(ドイツ政府\)](#)
- [オープンガバメントについて\(ドイツ政府\)](#)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～ドイツ(4/6)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –サイバーセキュリティ

Plan & Strategy

事例

概要

- ドイツ政府は、社会・民間産業・政府・EU/国際問題の4つの分野に焦点を当てた「Cyber Security Strategy for Germany」を2021年に策定。

参考

- [Cyber Security Strategy for Germany \(Federal Ministry of the Interior and Community\)](#)

取組  
概要

※着手中含む

- Cyber Security Strategy for Germanyでは、以下4つの横断的指針を掲げている。
- サイバーセキュリティを政府、民間企業、研究コミュニティ、社会の共同課題として確立する。
  - 政府、民間企業、研究機関、社会のデジタル主権を強化する。
  - デジタルトランスフォーメーションを安全にする。
  - 測定可能で透明性の高い目標を設定する。

参考

- [Cyber Security Strategy for Germany \(Federal Ministry of the Interior and Community\)](#)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～ドイツ(5/6)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –新技術(AI・メタバース等)

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

ドイツ政府は、AIをドイツ経済の成長分野と位置付け、AIの研究開発、応用拡大に取り組むことを目的とし、**AI国家戦略**を策定。

#### 要点

以下**3つの主要な目標**を達成するために様々な対策を定める。

- ドイツと欧州の**AI技術の開発と活用**に関するグローバルリーダーとなり、将来のドイツの競争力を確保する。
- 社会の利益に役立つAI**の責任ある開発と使用を保護。
- 幅広い社会的対話と積極的な政治的措置の文脈で、倫理的、法的、文化的、制度的観点から**AIを社会に統合**する。

#### 参考

- [AI国家戦略について \(Federal Ministry for Economic Affairs and Climate Action\)](#)

#### 取組概要

※着手中含む

目標達成のために、様々な行動分野において多数の取組を実施。取組例は以下のとおり。

- AIサービスセンターの追加（12センター）**: AI開発環境が十分でない研究機関や企業のAIアプリケーションの使用、理解、**開発を促進するための環境を提供し、全国ネットワークを構築**。
- AI観測センター-Zentrum für vertrauenswürdige Künstliche Intelligenz (ZVKI)の設立**: 信頼できるAIの評価及び認証の為にツールを開発し、データプラットフォームの構築・提供を行う。
- AIシステムの開発・利用の共同ガイドライン策定**: 国家標準化組織DINとのドイツ政府の共同プロジェクトにおいて、AI分野における規範と標準化仕様の共同ガイドラインの策定を開始。

#### 参考

- [KI-MONITORING: STANDORTBESCHREIBUNG FÜR DEUTSCHLAND \(Die Bundesregierung\)](#)
- [ZVKI公式ホームページ](#)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～ドイツ(6/6)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –スマートシティ

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

ドイツ政府は、スマートシティ化を促進するため様々な活動を推進している。

- **スマートシティ対話プラットフォームの設立**
- **スマートシティ憲章の策定**
- **スマートシティモデルプロジェクト**
- **スマートシティ研究クラスター**

#### 参考

- [スマートシティに関する取組 \(Federal Ministry of the Interior and Community\)](#)

#### 取組概要

※着手中含む

- **スマートシティ対話プラットフォームの設立**:市・町・州・県等の地方自治体、自治体傘下の協会、連邦政府の省庁、科学団体、企業、専門家ならびに市民社会から約70人の国内の専門家で構成され、**自治体のDXに関する推奨事項とリスク分析結果を提示。**
- **スマートシティ憲章の策定**:スマートシティを促進において、自治体DX実現が持続可能で統合された都市開発の目的に役立つよう、各機関の役割を明確に定義。
- **スマートシティモデルプロジェクト**:複数の自治体で**スマートシティに関する実装やテストを行う**自治体の効果的アクションの強化プロジェクト。ドイツ政府はこのモデルプロジェクトに**2020年からの10年間で約8億2,000万ユーロ**の資金を割り当てている。
- **スマートシティ研究クラスター**:デジタル化が都市開発に及ぼす影響を分析し、都市開発のためのデジタル化とビッグデータ研究の一環として開発された方法とツールを活用し、**都市開発政策におけるDXアクションを再考することを目的**とし実施する。将来、**デジタル都市になるための方法を支援できる推奨事項を作成**する。

#### 参考

- [スマートシティに関する取組\(Federal Ministry of the Interior and Community\)](#)
- [Smart City Dialog公式ホームページ](#)